

令和4年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 102

千葉県立茂原樟陽高等学校 全日制の課程

農 業 科・食品科学科・土木造園科

電子機械科・電 気 科・環境化学科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書。
(2) 作文	課題作文（字数400～600字 時間50分）
(3) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：15分

2 評価項目及び評価基準（全員審議の対象とする）

(1) 調査書 [165点満点]

アの数値に、エについて加点（上限30点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を評価する。評定1または未評価の教科がある者は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において15日以上欠席がある者は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇の数が0または1の者は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録・部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点（上限30点）する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 作文 [40点満点]

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）、b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを10点、bを6点、cを2点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。評価cが2つ以上ある場合には、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 全体としてのまとまりがある。
イ 内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。

(3) 面接 [100点満点]

2名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（やや優れている）・c（標準的である）・d（やや問題がある）・e（問題がある）の5段階で評価する。aを10点、bを8点、cを6点、dを4点、eを0点とし、2名の評価者の評価（各50点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 態度・身だしなみ 言葉遣い	面接を受ける態度が適切か。
イ 学習・課外活動への 取り組み	中学校3年間に、学習や課外活動にどのように取り組んだか。また、その反省を高校生活に生かそうとする意欲があるか。
ウ 志願理由	各学科の特性を理解し、本校を志望する理由が適切で、積極的に学ぼうとする意欲があるか。
エ 自己認識	自分自身のことをしっかり紹介でき、自己分析ができているか。
オ 入学後の抱負 将来への展望	自分の将来についてしっかり考え、高校生活をどのように過ごすか具体的に目標を設定しているか。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「作文検査の得点」及び「面接の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の予定人員までを入学許可候補者とする。

調査書の得点		作文の得点	面接の得点	合計
全教科の評定の合計値	加点			
135点	30点	40点	100点	305点

(2) その他

自己申告書は、選抜のための資料に加えるが、不利益になるような取扱いをすることがないよう十分に留意する。

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。